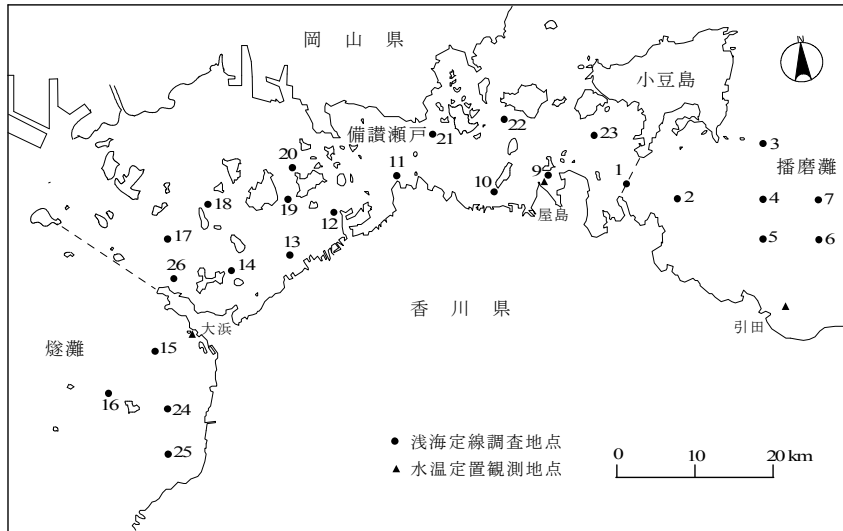


香川県漁海況情報 平成 23 年 4 月 (H23-1 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 23 年 4 月 5 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 4 日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「やや低めからかなり高め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「平年並み」であった。

4 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	10.0	9.8	9.8	33.1	33.1	33.2	9.0	6.33	6.24
	平年値	10.5	10.1	9.8	32.4	32.5	32.6	8.6	6.45	6.17
	平年偏差	-0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	1.0	0.9	0.8	0.5	0.5	0.5	1.5	0.25	0.24
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	10.7	10.7	10.7	33.5	33.5	33.5	5.3	6.22	6.21
	平年値	10.6	10.5	10.5	32.6	32.7	32.7	5.6	6.21	6.18
	平年偏差	0.1	0.2	0.2	0.9	0.8	0.8	-0.3	0.01	0.03
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.5	1.2	0.18	0.18
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	11.0	10.8	10.6	33.5	33.6	33.6	8.1	6.37	6.03
	平年値	11.7	10.7	10.5	32.9	33.1	33.1	8.4	6.29	5.94
	平年偏差	-0.7	0.1	0.1	0.6	0.5	0.5	-0.3	0.09	0.09
	標準偏差(σ)	1.0	0.7	0.7	0.5	0.4	0.4	2.0	0.25	0.31
	状 況	やや低め	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

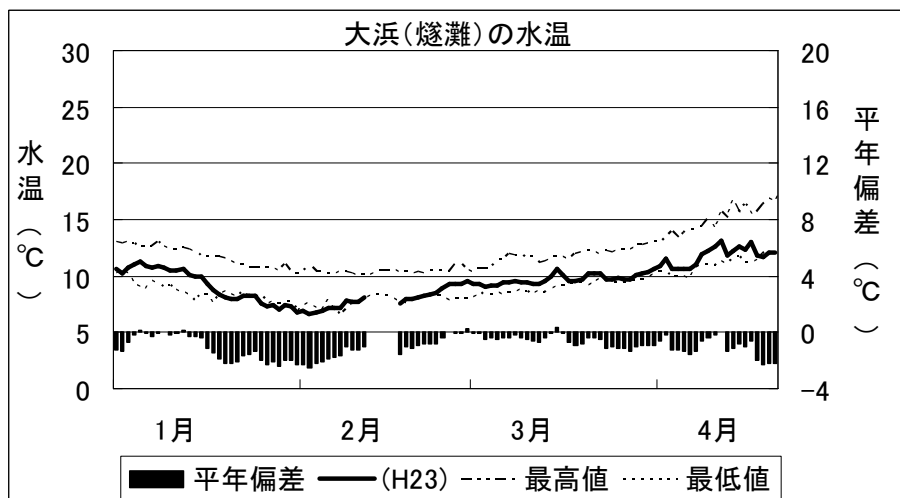
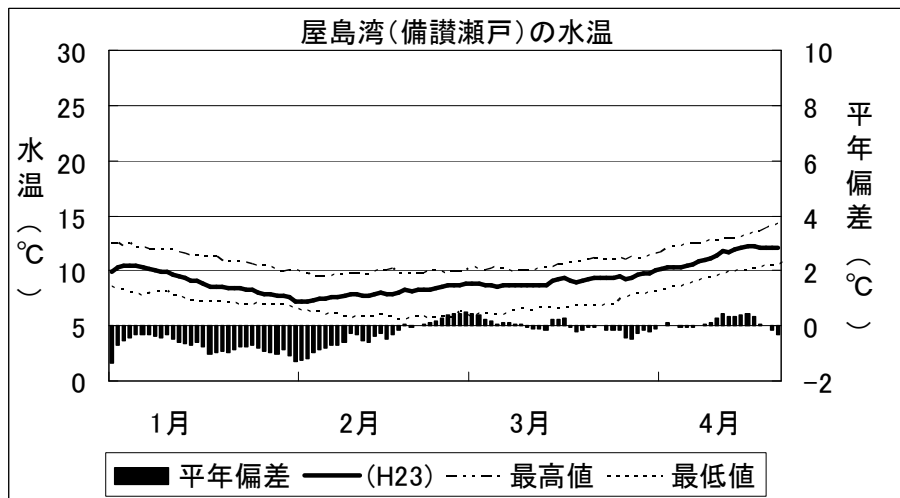
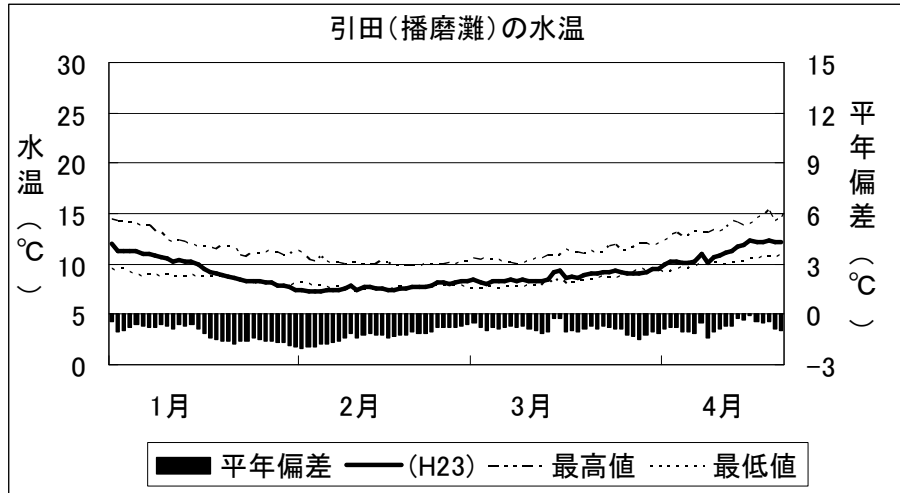
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 1月からかなり低めに推移していたが、4月中旬から平年並みで推移している。
 (1月下旬に2日, 2月上旬に7日, 中旬に3日, 3月下旬に4日, 4月上旬に1回, 過去最低値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 1月から2月はかなり低めから平年並みで, 3月から4月は概ね平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 1月から著しく低めに推移し, 2月から平年並みに戻ったが, 3月からかなり低めで推移している。(1月上旬に1日, 下旬に10日, 2月上旬に5日, 中旬に1日, 4月中旬に2日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年
 屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (3月23日～4月19日)

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成23年4月4日 (播磨灘), 5日 (備讃瀬戸, 燧灘)
 出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

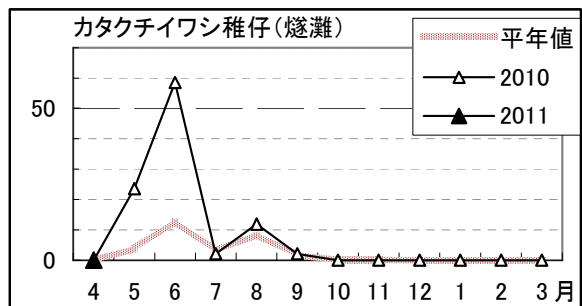
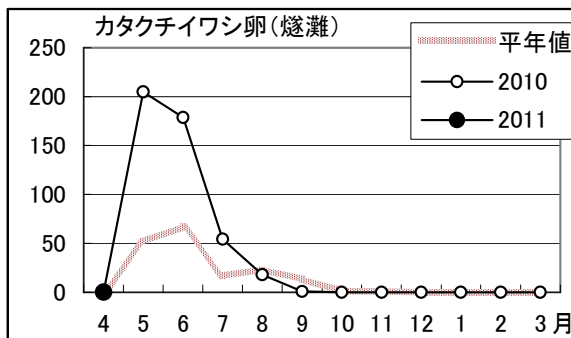
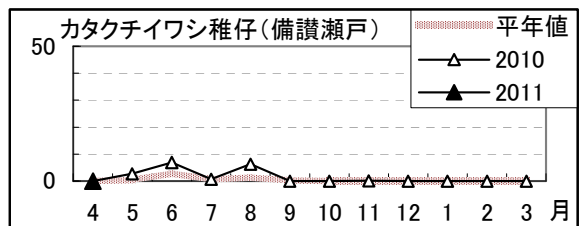
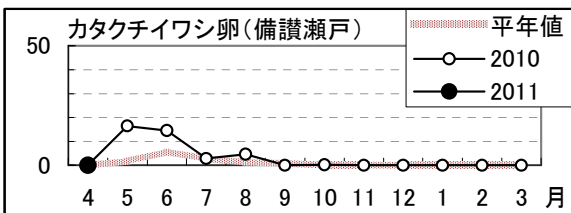
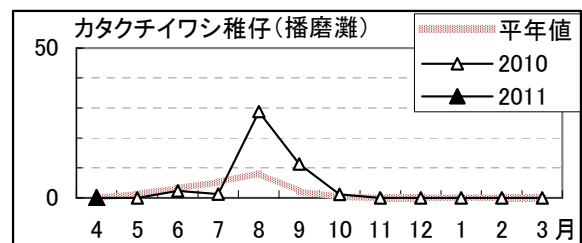
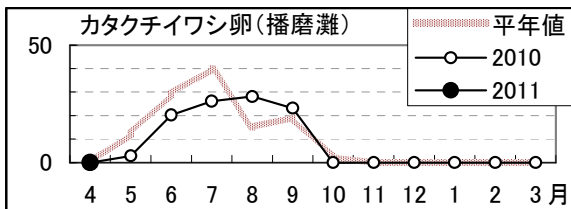
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成22(2010)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成22(2010)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.01	0.01				
	対平年(%)	0.00	-	0.00	0.00				
備讃瀬戸	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.27
	平年値	0.00	0.00	0.58	0.00				
	対平年(%)	-	-	0.00	0.00				
燧灘	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14
	平年値	0.12	0.00	1.58	0.02				
	対平年(%)	0.00	-	0.00	0.00				
総平均	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.17
	平年値	0.03	0.00	0.66	0.01				
	対平年(%)	0.00	-	0.00	0.00				

カタクチイワシ、マイワシの卵・稚仔、イカナゴの稚仔はいずれも確認されませんでした。
 マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されておりません。



平年値は昭和55年度から平成22年度の平均

2. 漁況

3月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、クロダイ、コノシロ、マアナゴ、シロギス、ヒラメ、メイタガレイ、ウシノシタ類、フグ類、小エビ類、コウイカ類、イイダコ、アカニシが漁獲されている。</p> <p>建網では主にメバルが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、スズキ、シロギス、ヒラメ、ウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、アカニシが漁獲されている。</p> <p>建網では主にマダイ、クロダイ、スズキ、メバル、カサゴが漁獲されている。</p> <p>庵治・高松沖におけるイカナゴ込網による3月末までの漁獲量は、フルセ（親魚）では約600トン（過去10年同期比 141%）と好調であったが、シンコでは約300トン（同 63%）と低調である。</p> <p>中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業による漁獲量は、30kg/隻/日と先月に引き続き低調である。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にクロダイ、メイタガレイ、タマガンゾウビラメ、ネズッポ類、フグ類、シャコ、小エビ類、ツメタガイが漁獲されている。</p> <p>柵網は3月20日から漁期が始まり、マダイ、クロダイ、スズキ、コノシロ、ウマヅラハギが漁獲されている。マダイは例年より多いが、その他の魚種は低調である。</p> <p>建網では、主にマダイ、メバル、カサゴが漁獲されている。</p> <p>さより機船船びき網は4月10日から漁期が始まったが、漁獲量は70kg/日・統と低調である。</p>